

わが国の空港における利用者促進のための取り組みに関する基礎的研究

—コロナ禍後における新たな取り組みに着目して—

A Basic Study on User Promotion Efforts at Airports Located in Japan

—Focusing on New Initiatives Implemented after the COVID-19—

○山本晋¹, 天野光一², 西山孝樹²

*Shin Yamamoto¹, Koichi Amano², Takaki Nishiyama²

In this study, we compared the events held from 2018 to February 28, 2020, before the outbreak of the new coronavirus (COVID-19) infection, with the events held after March 2020, at 79 airports in Japan. As a result, We extracted 78 events that started after the epidemic of coronavirus infection and analyzed their contents. At those airports, new efforts were being made using various surplus facilities and aircraft. In addition, new initiatives such as selling locally harvested vegetables and collaborating with companies were being actively implemented.

1. はじめに

2020年, 新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し, 各航空会社は機材の小型化や運休・減便を行っている。そのため, 就航先である各空港は着陸料などの航空系事業よりも, 物販や飲食に代表される非航空系事業による収入が重要になると考えられる。

2. 研究方法

そこで本研究では, わが国の97空港のうち, 公式ホームページが確認できた67空港に加え, 航空機・空港のポータルサイトである「FlyATeam」のページで確認できた空港を加えた79空港を対象とした^{[1],[2]}。

そして, 先の79空港において, 新型コロナウイルス感染症流行前の2018年から2020年2月28日に実施されたイベントと先の感染症流行後である2020年3月以降に実施されたイベントを比較した。

3. 空港および航空機に関連する施設整備やイベント

新型コロナウイルス感染症拡大により実施内容が変更されたイベントおよび先の感染症が流行後に開始されたイベントを対象とし, 79件(そのうち中止または延期17件)を抽出でき, その内容を分析した。

4. 空港および航空機に関連する施設整備やイベント

空港や航空機に関連するコロナ禍ならではの新規イベントは45件が該当した (Table.1)。

(1) 空港利用促進イベント

a) 空港のPRイベント等の実施

空港の利用者が激減したことを受け, 来場してもらうきっかけをつくるイベント等が該当した。新潟空港では, 新潟空港利用促進に向けて, 県内のショッピングモールなどで空港の魅力をPRする出張キャラバン

Table. 1 新型コロナウイルス感染症拡大により実施内容変更および感染症流行後に新たに開始されたイベントの分類

大項目	中項目	小項目	件数【括弧内は中止または延期件数】		
1. 空港および航空機に関連する施設整備やイベント	(1) 空港利用促進イベント	a) 空港のPRイベント等の実施	3 (0)	9 (2)	
		b) 対面での見学ツアーの実施	6 (2)		
	(2) バーチャルオンラインツアーの実施	a) 就航先の文化を体験する	1 (0)	4	
		b) 空港関連施設および航空機の見学	3 (0)		
	(3) 航空業界で働く人たちとの交流や学び	a) 専門知識を活用した教室 (英会話教室など)	1 (0)	5	
b) パイロットや整備士などによる航空教室		4 (0)			
(4) 密を避けられる空間利用	a) 滑走路・誘導路を利用したイベント	7 (0)	12 (1)		
	b) 展望デッキを利用したイベント	5 (1)			
(5) 余剰となった空港・航空機の利活用	a) 機内食を味わう体験や遊覧飛行	13 (3)	16 (4)		
	b) 平時とは異なる用途に転換した施設の利用	3 (1)			
2. 空港および航空機に関連しない施設整備やイベント	(1) 空港周辺地域との連携	a) 地元商店を集めたマルシェの実施	3 (0)	13 (4)	42
		b) 地元企業と連携した商品の開発・販売	4 (1)		
		c) 空港およびその周辺一帯で実施するイベント	6 (3)		
	(2) 少人数制のワークショップ	a) 海外の文化に触れられる体験	2 (1)	9 (3)	
		b) その他	7 (2)		
(3) 余剰となった空港施設の利用	a) 空港ならではの広大なスペースの利用	3 (0)	14 (3)		
	b) 吹き抜け空間や到着ロビーでのライブ	5 (1)			
	c) 絵画展・美術品の展示	6 (2)			
(4) 空港アクセスやテナントの利用促進			3 (1)		
(5) 就航先の土産等の販売			3 (0)		

79 (17) 重複なし

1: 日大理工・学部・まち 2: 日大理工・教員・まち

イベントが開催されていた (Table.1 1(1) a)).

b) 対面での見学ツアーの実施

名古屋小牧空港では、現役整備士の案内による実機機見学や特別講座を楽しめる「秘密の格納庫体験ツアー」や普段は入ることができない空港内の施設の見学が実施されていた。また、富山きときと空港では「出入国体験ツアー」という出入国に係る手続きが体験できるこれまで実施されたこなかったCIQ施設イベントも開催されていた (Table.1 1(1) b), 1(3) b)).

(2) バーチャルオンラインツアー

研究対象とした空港および就航先を仮想で訪れるツアーが実施されるようになった。

a) 就航先の文化を体験する

コロナ禍で海外渡航が制限されていることから、当該の空港と結ばれる海外の都市をオンラインツアーで訪れる催しが実施されていた。例えば、旭川空港の「なんちゃってトラベルハワイ編」では、旭川空港にしながらハワイを体感することができるイベントが開催されていた (Table.1 1(2) a)).

b) 空港関連施設および航空機の見学

成田国際空港では「成田空港オンライン見学ツアー」という自宅で楽しめるライブ配信で参加可能なツアーが実施されていた。このツアーでは、成田空港の普段は非公開のエリアや周辺観光地をオンラインで紹介するツアーであった。普段見られない空港裏側の姿、初公開の映像も交えて自宅で安心して楽しむことができる企画が実施されていた (Table.1 1(2) b)).

(3) 航空業界で働く人たちとの交流や学び

b) パイロットや整備士などによる航空教室

旭川空港では、「オンライン空学」という空港の仕事や空港に関する質問を募集し空港職員が回答するというオンラインで開催するイベントを実施していた (Table.1 1(3) b), 1(2) b)).

(4) 密を避けられる空港利用

b) 展望デッキを利用したイベント

函館空港では、展望デッキを利用して飛行機を見ながらジンギスカンなどを楽しめるイベントや飛行機を見ながらサウナ体験ができるイベントが企画されていた (Table.1 1(4) b)).

(5) 余剰となった空港・航空機の活用

a) 機内食を味わう体験や遊覧飛行

羽田空港では、「翼のレストラン HANEDA」という機内で食事サービス体験を楽しめるイベントが実施された (Table.1 1(5) a)).

b) 平時とは異なる用途に転換した施設の利用

通常の空港ターミナルでは、航空機に搭乗するため、手荷物カウンターに並んだり、乗降客が通路を行き交うため空間的余裕はない。しかし、コロナ禍で空港利用者が少ないことで、先の空間を利用したイベントとして、成田国際空港の「成田空港フォトウエディングプラン」では、成田空港と航空会社に加えて空港周辺ホテル・式場4社が連携して空港内の様々な空間を利用して撮影を行うプランであった (Table.1 1(5) b)).

5. 空港および航空機に関連しない施設整備やイベント

空港や航空機に関連しない新規イベントは42件が該当した (Table.1).

(1) 空港周辺地域との連携

a) 地元商店を集めたマルシェの実施

函館空港の「函館空港×七飯・大沼コラボマルシェ」では、空港が会場となり、七飯・大沼の魅力的な食や雑貨を楽しめるイベントであった (Table.1 2(1) a)).

(2) 少人数制のワークショップ

b) その他

中部国際空港では、世界最大級の航空宇宙をテーマとした「シアトル航空博物館」の教育プログラムをワークショップ形式で楽しめるイベントが実施された (Table.1 2(2) b)).

(3) 余剰となった空港施設の活用

a) 空港ならではの広大なスペースの利用

函館空港では「食べて、見て、体験する HIFOUTDOOR EVENT」と題して、空港のイベントホールでプチキャンプ体験が実施されていた (Table.1 2(3) a), 2(2) b)).

(4) 空港アクセスやテナントの利用促進

羽田空港と京浜急行が連携した「羽田空港×京浜急行 ちょっと羽田ではねのぼし」キャンペーンが実施され、京急沿線や空港内の飲食店をお得に利用できるキャンペーンが実施された (Table.1 2(4)).

6. まとめ

本研究では全国の空港を対象として、コロナ禍(2020年3月以降)に新たに開始されたイベントについて分類整理を行った。新型コロナウイルスの影響で空港利用者の減少から余剰の空間が多く生まれ、それらを有効活用したイベントが多くみられた。さらに、これまでは何かしらの空港や航空機に関連するイベントが多く実施されてきたが、地域と連携したイベントなどがさらに増加してきたことも明らかとなった。

参考文献

- [1] Fly Team : Fly Team HP, <https://flyteam.jp/>, 2021年9月12日閲覧
 [2] 旭川空港ホームページ : <https://www.aapb.co.jp>, そのほか78空港のホームページを参照, 2021年9月12日閲覧。